


パブリックコメント手続実施要項

作成日:令和5年(2023年)12月4日

案件の名称	箕面市景観計画(色彩基準)の変更について	
パブリックコメント手続実施の目的	箕面市景観計画の変更案を作成するにあたり、素案の段階で広く市民のみなさまの声を聴き、意見を反映させる(景観法第9条第1項及び第8項)	
実施部局名	みどりまちづくり部 まちづくり政策室	
(問い合わせ先)	みどりまちづくり部 まちづくり政策室 (電話:072-724-6918)	
パブリックコメントの対象となる資料	箕面市景観計画の変更 素案	
参考資料	箕面市景観計画(色彩基準)の変更について	
閲覧方法と閲覧場所	<p>(1) 市ホームページ (https://www.city.minoh.lg.jp/business/keikan/index.html)</p> <p>(2) みどりまちづくり部 まちづくり政策室 (箕面市役所 別館4階 49番窓口)</p> <p>(3) 行政資料コーナー (箕面市役所 別館1階 12番窓口)</p> <p>(4) 箕面市役所豊川支所、止々呂美支所</p> <p>(5) 総合保健福祉センター</p> <p>(6) 西南生涯学習センター</p> <p>(7) 中央・東・船場図書館</p> <p>(8) みのお市民活動センター</p> <p>※(2)～(4)は、市役所開庁日の8時45分から17時15分まで ※(5)～(8)は、施設の開館日、開館時間</p>	
意見等の提出期間	令和5年(2023年)12月4日から令和6年(2024年)1月5日まで ※郵便の場合は消印有効	
意見等の提出方法	<p>次のうちいずれかの方法で提出してください。</p> <p>(1) 閲覧場所の窓口への提出</p> <p>(2) 郵便による送付</p> <p>(3) ファクシミリによる送付</p> <p>(4) 電子申請システム(LoGo フォーム)による送付</p> <p>※閲覧場所の窓口意見書のひな形をご用意していますので、ご利用ください。 (自由な形式で提出していただいてもかまいません。)</p>	<p>LoGo フォーム QR コード</p> 

<p>意見等を提出できるかた</p>	<p>(1) 本市にお住まいのかた (2) 本市に事務所又は事業所がある事業者 (3) 本市にある事務所又は事業所に勤務しているかた (4) 本市にある学校に在学しているかた (5) 本市に対して納税義務を有しているかた (6) 上記(1)から(5)に該当するかたで構成された団体 (7) 箕面市域内の土地の所有者その他利害関係を有するかた</p>
<p>意見等を提出する際の必要記載事項</p>	<p>(1) 意見を提出しようとする素案の名称 (2) 氏名及び住所(上記の「意見等を提出できるかた」のうち(2)～(5)に該当するかたにあたっては名称及び所在地、(6)に該当する団体にあつては、団体名及び団体事務局所在地) (3) 上記の「意見等を提出できるかた」のうち、該当する区分</p>
<p>提出された意見等及び市の考え方の公表方法</p>	<p>お寄せいただいたご意見は、住所・氏名などの個人情報を除き、類似のご意見などは集約させていただいた上で、そのご意見に対する市の考え方と対応も含めて、「閲覧方法と閲覧場所」に記載の方法・場所で公表します。なお、意見提出者への個別回答はいたしませんのでご了承ください。また、個人情報については他の目的で利用することはありません。</p>
<p>備考</p>	

パブリックコメント手続 意見書

件名(素案の名称)		箕面市景観計画(色彩基準)の変更について
提出者	住 所 (所在地)	
	氏 名 (名 称)	
「意見等を提出できるかた」のうち、該当する区分 (あてはまる番号に○をつけてください。)		<ul style="list-style-type: none"> (1)本市にお住まいのかた (2)本市に事務所又は事業所がある事業者 (3)本市にある事務所又は事業所に勤務しているかた (4)本市にある学校に在学しているかた (5)本市に対して納税義務を有しているかた (6)上記(1)から(5)に該当するかたで構成された団体 (7)箕面市域内の土地の所有者その他利害関係を有するかた
意見・提言など		

○箕面市景観計画の変更 素案

※変更箇所のみ抜粋

箕面市景観計画

箕面市

【変更履歴】

平成 19 年(2007 年)10 月 1 日告示

平成 20 年(2008 年)3 月 24 日変更告示(同年 4 月 1 日施行)

- ・都市景観形成地区 小野原西地区追加
- ・都市景観形成地区 箕面森町(水と緑の健康都市)地区追加

平成 20 年(2008 年) 8 月 8 日変更告示(同日施行)

- ・都市景観形成地区 彩都粟生地区変更

平成 21 年(2009 年) 7 月 21 日変更告示(同日施行)

- ・都市景観形成地区 箕面森町(水と緑の健康都市)地区変更

平成 22 年(2010 年) 4 月 1 日変更告示(同年 7 月 1 日施行)

- ・山すそ景観保全地区追加

平成 22 年(2010 年)12 月 27 日変更告示(同日施行)

- ・都市景観形成地区 箕面森町(水と緑の健康都市)地区変更

平成 24 年(2012 年)3 月 22 日変更告示(同日施行)

- ・都市景観形成地区 箕面森町(水と緑の健康都市)地区変更

平成 25 年(2013 年)1 月 28 日変更告示(同年 4 月 1 日施行)

- ・止々呂美田園景観保全地区追加

平成 25 年(2013 年)3 月 27 日変更告示(同日施行)

- ・都市景観形成地区 彩都粟生地区変更

平成 25 年(2013 年)10 月 30 日変更告示(同日施行)

- ・都市景観形成地区 箕面森町(水と緑の健康都市)地区変更

平成 26 年(2014 年)3 月 31 日変更告示(同日施行)

- ・都市景観形成地区 今宮三丁目東急不動産開発地区変更

平成 26 年(2014 年)9 月 17 日変更告示(同日施行)

- ・都市景観形成地区 彩都粟生地区変更

平成 27 年(2015 年)4 月 1 日変更告示(同日施行)

- ・都市景観形成地区 白島三丁目東急不動産開発地区追加
平成 27 年(2015 年)6 月 25 日変更告示(同日施行)
 - ・都市景観形成地区 箕面森町(水と緑の健康都市)地区変更

平成 28 年(2016 年)4 月 1 日変更告示(同日施行)
 - ・都市景観形成地区 桜井駅前地区追加

平成 29 年(2017 年)8 月 18 日変更告示(同日施行)
 - ・都市景観形成地区 箕面船場駅前地区追加

令和元年(2019 年)6 月 26 日変更告示(同日施行)
 - ・都市景観形成地区 箕面森町(水と緑の健康都市)地区変更

令和 5 年(2023 年) 9 月 29 日変更告示(同日施行)
 - ・都市景観形成地区 川合・山之口地区追加
 - ・都市景観形成地区 彩都栗生地区変更
- 令和 6 年(2024 年) 月 日変更告示(同日施行)**
- ・**色彩基準の変更**

3. 良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項（法第8条第2項第2号関係）

○建築物等の新築等の制限

対象項目		基準
建築物等	色彩	<p>1 建築物等の外観の色彩は、素材の持つ質感や形態などを考慮するとともに、箕面市の緑豊かな景観を美しく引き立て、周辺のまちなみに調和する色とする。色数は、できるだけ少なくする。サブカラーは同一面の1/3以下とし、ベースカラーと類似調和する色調とする。^{※1} また、アクセントカラーは同一面の1/20以下とする。</p> <p>2 建築物の外壁及び工作物の表面の基調色（ベースカラー・サブカラー）として使用する色彩は、次に掲げる色彩とする。また、基準内であっても、周辺の自然やまちなみとの調和に配慮し、落ち着いた色彩とする。</p> <p>① JIS修正マンセル表色系（以下「マンセル値」という。）による色相がYRの場合は、彩度が4以下の色彩とする。</p> <p>② マンセル値による色相がY及びRの場合は、彩度が3以下の色彩とする。</p> <p>③ マンセル値による色相がGY、G、BG、B、PB、P、RPの場合は、彩度が2以下の色彩とする。</p> <p>④ ベースカラーは、マンセル値による明度が6以上9以下の色彩とする。サブカラーは、明度が5以上9以下の色彩とする。ただし、戸建住宅（建築基準法別表第2（い）欄一号に定める住宅のことをいう。長屋住宅は除く。以下同じ）のサブカラーは、明度3～9とし、色相がYRの場合は①にかかわらず彩度が6以下の色彩とする。</p> <p>⑤ 府道箕面池田線、府道豊中亀岡線、府道箕面池田線、市道小野原中村線及び府道茨木能勢線に画された線から北に位置する区域では、原則としてベースカラー及びサブカラーともに、マンセル値による明度が6以上8以下の色彩とする。^{※3、※4} ただし、戸建住宅のサブカラーは、明度3～9とし、色相がYRの場合は①にかかわらず彩度が6以下の色彩とする。</p> <p>⑥ 無彩色にあっては、極端に高明度又は低明度の色を長大な壁面に使用する場合は、周囲の状況に応じて用い方を工夫するとともに、植栽等により柔らかさを出す工夫をする。</p> <p>3 アクセントカラーは、建築物及び工作物の外縁部を囲んだり、分散させるなどといった、周辺との連続性を分断し、ボリューム感を強調させるような使い方をしない。</p>

※1、※2、※3 特定届出対象行為に該当しない建築物等の新築等においては、圧迫感を与えない配置や素材の工夫、十分な緑化などにより周辺の自然やまちなみから突出しない場合に限り、サブカラーの明度は3以上9以下とすることができ、また、その面積は当該基準によらないこととするこ

とができる。

※4 当該地域において、背景あるいは周辺となる山麓部の景観との調和への配慮が特に必要な場合は、当該基準にかかわらず、背景あるいは周辺となる山麓部と調和する色彩とする。

参考

「ベースカラー」

外観の基調色のうち、最も広い面積を占める色を指し、イメージを決める色です。

「サブカラー」

外観の基調色となる色のうち、壁面が長大で単調な場合等に、適度な変化を与えて壁面を分節化し、周辺に与える圧迫感を軽減させるための色です。ベースカラーと類似調和する色を、素材の持つ質感や形態の違いなどに関連づけて用いる工夫が大切です。

「アクセントカラー」

基調色に対してコントラストを持つ強調色のことで、全体を引き締めたり、部分や形状を効果的に強調し変化を演出し、まちなみの「活気」や「彩り」を印象づける色です。わずかの面積の使用にとどめ、基調色との対象調和として用いる工夫が大切です。

「スカイライン」

空及び山なみを背景とした建築物等の輪郭線

「ストリートファニチュア」

街路や広場などに置かれるベンチ・案内板・水飲み場などの屋外装置物

②山すそ景観保全地区

(制限事項)

○市街化調整区域

対象項目	基準
建築物等	<p>色彩</p> <p>1 四季折々の彩り豊かな山なみをいかすため、自然の色彩よりも目立つ色の使用や配色は行わない。</p> <p>2 建築物の外壁及び工作物の表面の基調色（ベースカラー・サブカラー）として使用する色彩は、次に掲げる色彩とする。</p> <p>① 有彩色は、原則としてベースカラー及びサブカラーともに、マンセル値による明度が6以上8以下の色彩とする。ただし、立地等により、背景の緑との明度差が大きく、背景あるいは周辺となる山なみ景観との調和への配慮が特に必要な場合は、本基準にかかわらず、背景あるいは周辺となる山麓部と調和する色彩とする。</p> <p>② 暖かく、自然な印象をつくり出す暖色系（Y、YRなど）の色相の使用に努める。</p> <p>③ 無彩色は、高明度又は低明度の色を長大な壁面に使用しない。</p> <p>④ 素材の質感を考慮し、周辺と馴染む色彩を用いる。</p> <p>⑤ 戸建住宅（建築基準法別表第2（い）欄一号に定める住宅のことをいう。長屋住宅は除く。以下同じ）のサブカラーは、明度3～9とし、色相がYRの場合は彩度は6以下とする。</p> <p>3 建築物等の印象が際だつため、上層部・外枠等へアクセントカラーを使用しない。</p> <p>4 屋根の色彩は、次に掲げる色彩とする。</p> <p>① マンセル値による色相がYRの場合は彩度が4以下とする。</p> <p>② マンセル値による色相がY及びRの場合は彩度が3以下とする。</p> <p>③ マンセル値による色相がGY、G、BG、B、PB、P、RPの場合は彩度が2以下とする。</p> <p>④ マンセル値による明度は色相に関わらず明度6以下とする。</p>

○市街化区域

対象項目	基準
建築物当	<p>色彩</p> <p>1 四季折々の彩り豊かな山なみをいかすため、自然の色彩よりも目立つ色の使用や配色は行わない。</p> <p>2 建築物の外壁及び工作物の表面の基調色（ベースカラー・サブカラー）として使用する色彩は、次に掲げる色彩とする。</p> <p>① 有彩色は、原則としてベースカラー及びサブカラーともに、マンセル値による明度が6以上8以下の色彩とする。</p> <p>ただし、立地等により、背景の緑との明度差が大きく、背景あるいは周辺となる山なみ景観との調和への配慮が特に必要な場合は、本基準にかかわらず、背景あるいは周辺となる山麓部と調和する色彩とする。</p>

対象項目	基準
	<p>② 暖かく、自然な印象をつくり出す暖色系（Ｙ、ＹＲなど）の色相の使用に努める。</p> <p>③ 無彩色は、高明度又は低明度の色を長大な壁面に使用しない。</p> <p>④ 素材の質感を考慮し、周辺と馴染む色彩を用いる。</p> <p>⑤ 戸建住宅（建築基準法別表第２（い）欄一号に定める住宅のことをいう。長屋住宅は除く。以下同じ）のサブカラーは、明度３～９とし、色相がＹＲの場合は彩度は６以下とする。</p> <p>３ 建築物等の印象が際だつため、上層部・外枠等へアクセントカラーを使用しない。</p> <p>４ 屋根の色彩は、次に掲げる色彩とする。</p> <p>① マンセル値による色相がＹＲの場合は彩度が４以下とする。</p> <p>② マンセル値による色相がＹ及びＲの場合は彩度が３以下とする。</p> <p>③ マンセル値による色相がＧＹ、Ｇ、ＢＧ、Ｂ、ＰＢ、Ｐ、ＲＰの場合は彩度が２以下とする。</p> <p>④ マンセル値による明度は色相に関わらず明度６以下とする。</p>

箕面市景観計画（色彩基準）の変更について

目次

1. 戸建て住宅の色彩基準について
2. 戸建て住宅の色彩基準の見直し案
3. 対象区域と対象行為について
4. 今後のスケジュール

令和5年(2023年)12月
箕面市

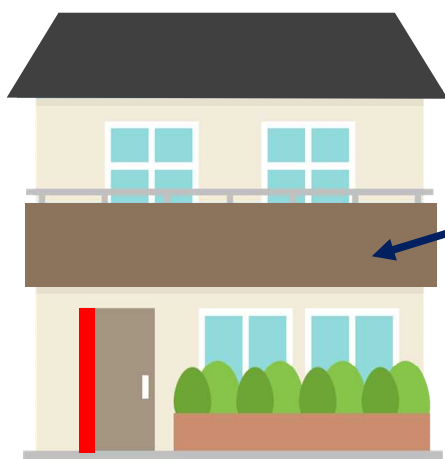
1

はじめに

市では、昨今の社会情勢の変化やライフスタイルの多様化、本市のまちなみ景観の現状を踏まえて、戸建て住宅にかかる色彩基準の一部見直しを検討しています。

説明のポイント1

**景観条例の届出が必要となる
戸建て住宅で使える色彩の範囲を一部拡大します。**



外壁面の1面の3分の1まで使用できるサブカラーについて、色彩基準の範囲を広げます。

※ベースカラー、アクセントカラーの色彩基準は変更しません。

2

はじめに

説明のポイント2

今回対象となるかたは、一部の市民のかたに限られます。

■景観の届出が必要となる建築行為の例

- ①重点地区（彩都や箕面森町など）のなかで戸建て住宅の建築等を行う場合
- ②重点地区以外の地区（その他の地区）のなかで、敷地面積が500㎡を超えるもしくは軒の高さが10mを超える戸建て住宅の建築等を行う場合

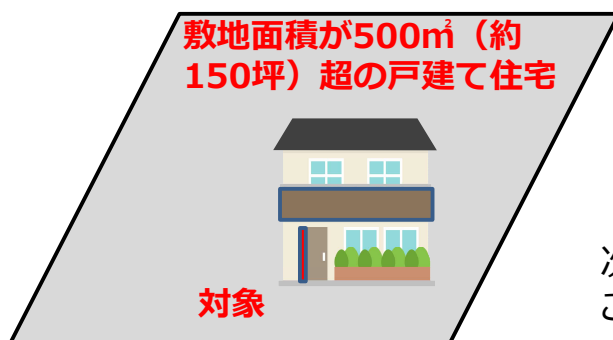
大半の市民のかたは対象になりません。

②の例

敷地面積が150㎡（約45坪）の戸建て住宅



敷地面積が500㎡（約150坪）超の戸建て住宅



次のページから詳しくご説明します。

1. 戸建て住宅の色彩基準について

(1) 景観計画について

■平成20年（2008年）4月 箕面市景観計画 策定

■目的：北摂山系の山なみ景観を保全
 緑豊かな自然・文化・歴史あふれる都市景観を保全・育成 暮らしを支えるまちなみの魅力を高めるまちづくりの実現

■区域の設定：山なみ景観保全地区
 止々呂美田園景観保全地区
 山すそ景観保全地区
 都市景観形成地区
 景観配慮地区
 その他の地区（重点地区を除く地区）

} 重点地区

■制限事項：緑化・垣または柵の設え・敷際の設え
 外観の意匠・**色彩**等



山なみを背景とした本市の景観

景観形成は、様々な要素で構成されていますが、今回は「色彩」に関する基準の一部を変更します。

1. 戸建て住宅の色彩基準について

(2) 現在のまちなみの様子

重点地区（箕面森町）



山を背景に緑豊かな住宅地景観が形成されている。

重点地区（彩都粟生地区）



道路側の緑化など潤いある住宅地景観が形成されている。

重点地区（小野原西地区）



住宅地と調和したデザイン性の高い店舗が立地しています。

その他の地区

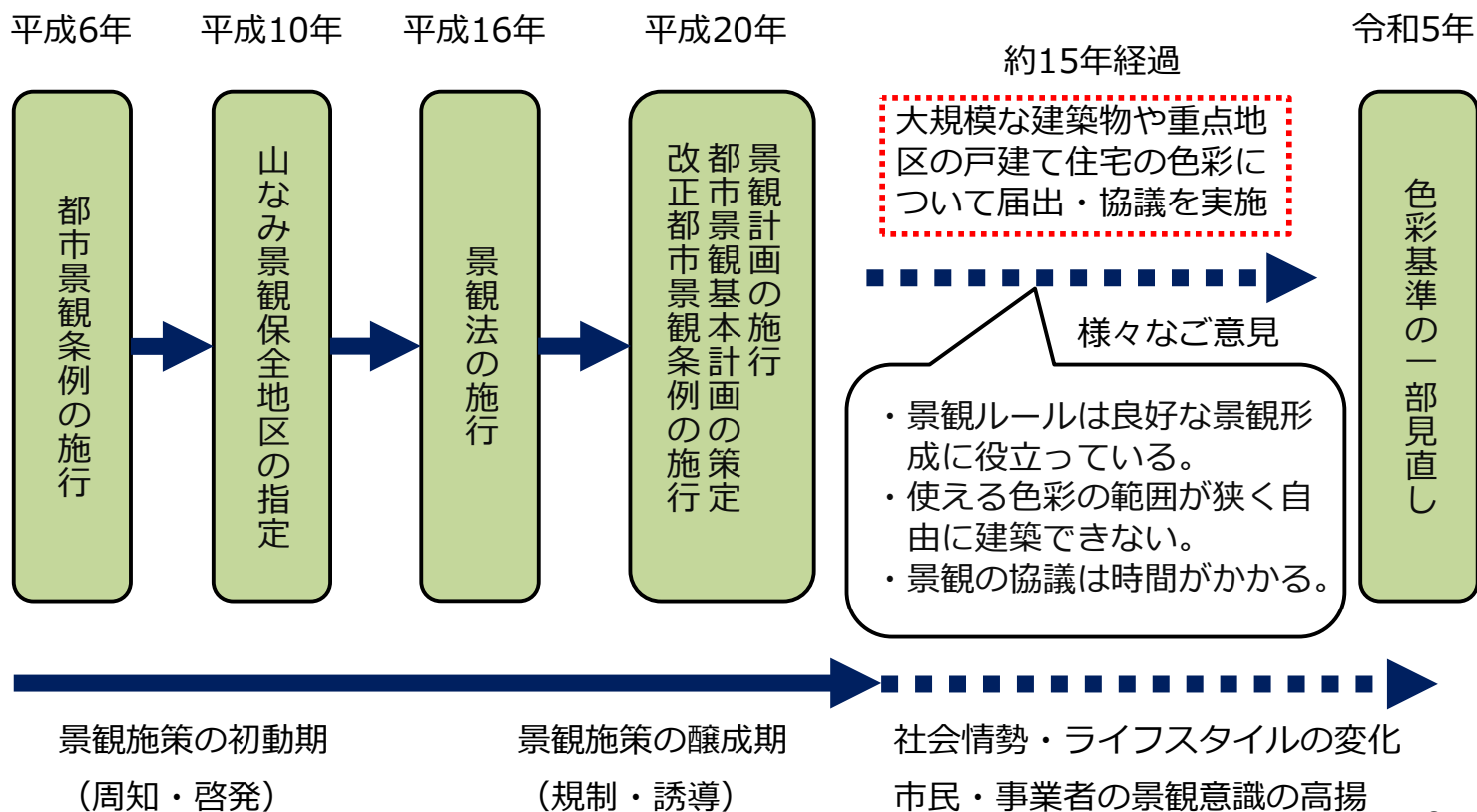


住宅の色彩に濃淡があり変化のあるまちなみ景観が形成されている。

緑豊かな良好なまちなみ景観が形成されています。

1. 戸建て住宅の色彩基準について

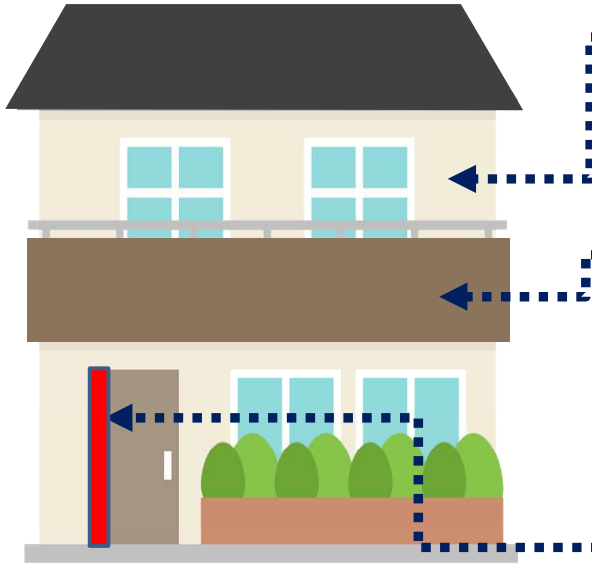
(3) 市の景観形成に関する近年の取り組み経過



1. 戸建て住宅の色彩基準について

(4) 外観の色彩の種類と考え方

壁面の色彩は、これら3種類に分けて考えます。それぞれに彩度明度の範囲および使用面積の制限があります。



■ベースカラー（面積制限なし）

外観の基調色のうち、最も広い面積を占める色を指し、イメージを決める色です。

■サブカラー（1壁面の3分の1まで使用可）

外観の基調色となる色のうち、壁面が長大で単調な場合等に、適度な変化を与えて周辺に与える圧迫感を軽減させるための色です。

今回、サブカラーの色彩基準の変更を検討します。

■アクセントカラー

（1壁面の20分の1まで使用可）

基調色に対してコントラストを持つ強調色の中で、全体を引き締めたり、部分や形状を効果的に強調し変化を演出し、まちなみの「活気」や「彩り」を印象づける色です。

1. 戸建て住宅の色彩基準について

(5) 色彩基準に使用する「マンセル値」について

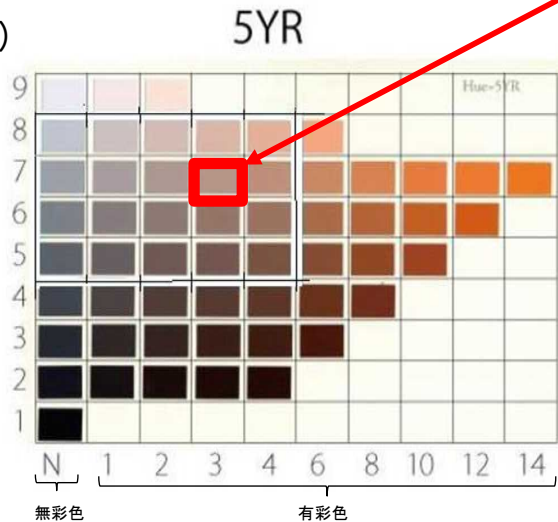
マンセル値・・・色彩の色相、明度、彩度を数値で表しています。
建築物の外観の色彩は、マンセル値により判断しています。

マンセル値（例）

$\frac{5YR}{\text{色相}} \quad \frac{7}{\text{明度}} \quad / \quad \frac{3}{\text{彩度}}$

明度（明るさ）

明
↑
暗



色相（色味の違い）

- YR：ベージュ系
- Y：黄系
- R：赤系
- G：緑系
- B：青系 等

彩度（鮮やかさ）

くすんだ ← → 鮮やか

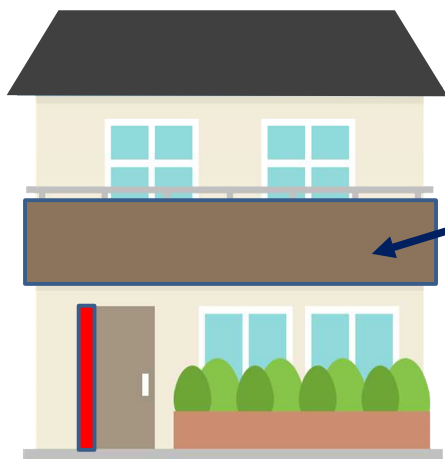
2. 戸建て住宅の色彩基準の見直し案

(1) 見直しの方針 1

- ・ 景観計画策定から15年経過し、市民や事業者の景観への理解が深まり、届出の有無にかかわらず、周辺景観に配慮した住宅地が形成されている。
- ・ 戸建て住宅以外の規模の大きな建築物（マンションや店舗等）の色彩が周辺景観に与える影響はこれまで同様に大きいことを考慮する。

見直しポイント 1

戸建て住宅のサブカラーに限り色彩基準を拡大する。



外壁面の1面の3分の1まで使用できるサブカラーについて、色彩基準の範囲を広げます。

※ベースカラー、アクセントカラーの色彩基準は変更しません。

9

2. 戸建て住宅の色彩基準の見直し案

(2) サブカラーの変更案（彩度の変更）

彩度のマンセル数値変更

色相 (色味の違い)	彩度（鮮やかさ）		
	ベースカラー (面積制限なし)	サブカラー (1壁面の1/3)	アクセントカラー (1壁面の1/20)
YR (ベージュ)	4以下 ↓ 変更なし	(重点地区) (その他地区) 4以下 ↓ (重点地区) (その他地区) 6以下	制限なし ↓ 変更なし
Y (黄) R (赤)	3以下 ↓ 変更なし	3以下 ↓ 変更なし	
G (緑) B (青)	2以下 ↓ 変更なし	2以下 ↓ 変更なし	

10

2. 戸建て住宅の色彩基準の見直し案

(3) サブカラーの変更案（明度の変更）

明度のマンセル数値変更

色相 (色味の違い)	明度（明るさ）		
	ベースカラー (面積制限なし)	サブカラー (1壁面の1/3)	アクセントカラー (1壁面の1/20)
YR (ベージュ)	(重点地区) 6～8 (その他地区) 6～9 ↓	(重点地区) <u>6～8</u> (その他地区) <u>5～9</u> ↓	(全地区) 制限なし ↓ 変更なし
Y (黄) R (赤)		(重点地区) <u>3～9</u> (その他地区) <u>3～9</u>	
G (緑) B (青)	変更なし		

11

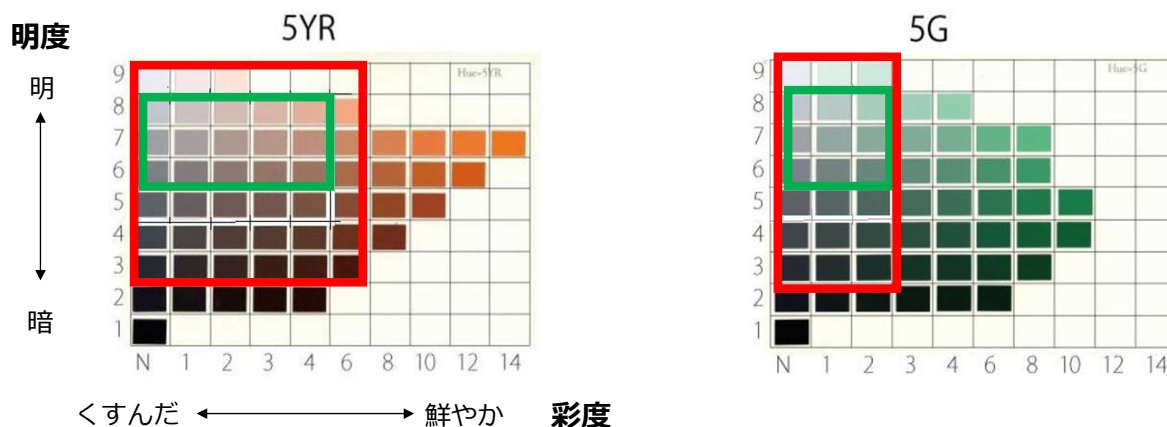
2. 戸建て住宅の色彩基準の見直し案

(4) サブカラーの変更案（マンセル値の変更範囲）

サブカラーの色彩基準の範囲を拡大します。

□ 現行 □ 見直し案

(例：色相YR、Gの場合)



1. サブカラーのみ変更する。ベースカラー、アクセントカラーは変更なし。
2. **彩度YR (ベージュ)** の範囲を広げる。Y、R、G、B等に変更なし。
3. **明度** の範囲を広げる。

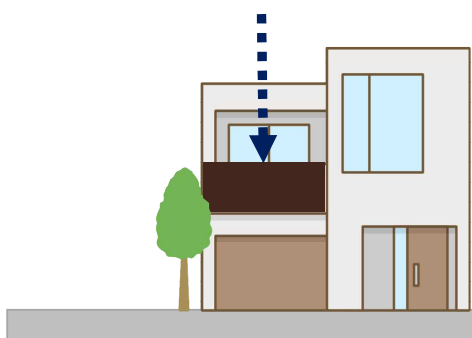
12

2. 戸建て住宅の色彩基準の見直し案

(5) サブカラーの使用例

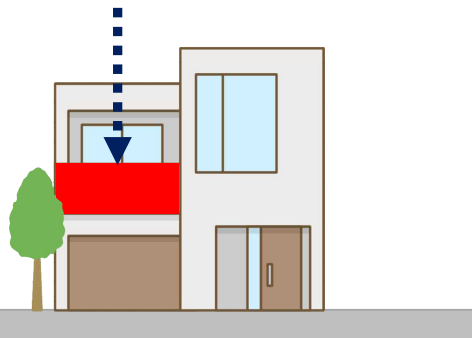
これまで同様に、彩度の高い鮮やかな色彩などは、色彩基準の拡大範囲に含みません。

例【10YR4/2】
明度が低いため、これまで使用不可であったが、使用可とする。



× → ○
これまで不可を可にします

例【5R8/14】
彩度の高い色彩は、これまでと同様に使用不可。



×
これまでと同様に不可

13

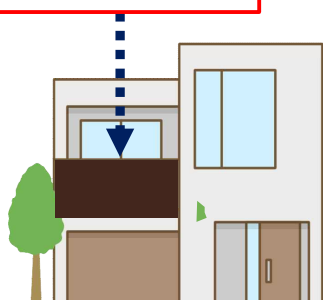
2. 戸建て住宅の色彩基準の見直し案

(6) 見直しの方針2

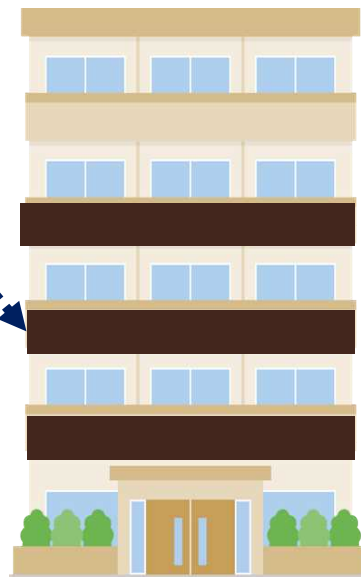
見直しポイント2

戸建て住宅以外の建築物（マンション、倉庫等）については、周辺景観への影響が大きいことから現在の色彩基準から変更しない。

○
例【10YR4/2】
明度が低いため、これまで使用不可であったが、使用可とする。



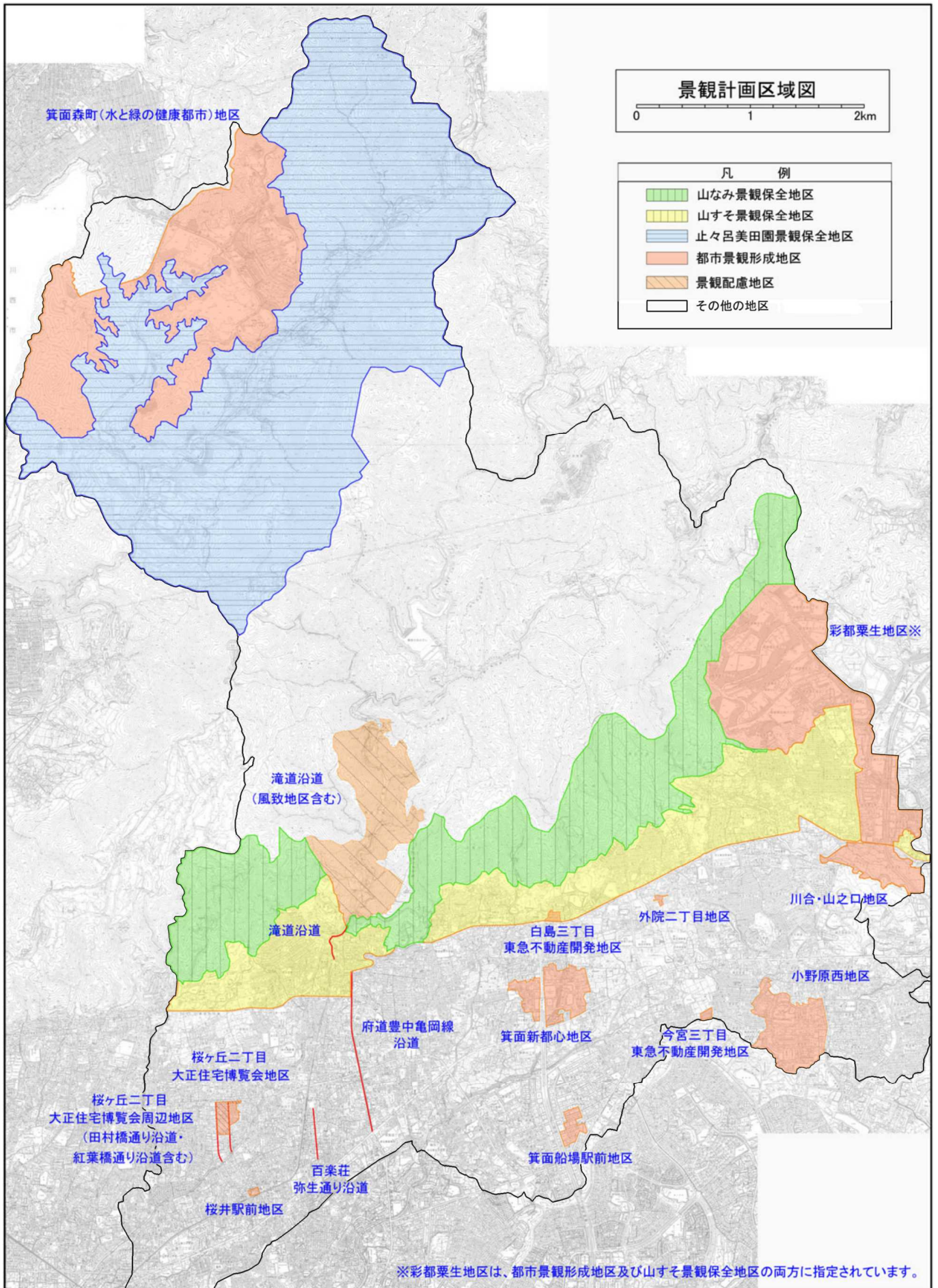
×
例【10YR4/2】
大規模な建築物については、周辺景観への影響が大きいことためこれまで通り使用不可



14

3. 対象区域と対象行為について

(1) 景観計画区域図



3. 対象区域と対象行為について

(2) 戸建て住宅の色彩基準変更区域一覧

種別	地区名	届出が必要な行為	R4年度 届出件数	色彩基準	
重点地区	山なみ景観保全地区	全ての建築行為等	0	変更有り	
	止々呂美田園景観保全地区	全ての建築行為等	0	変更なし	
	都市景観形成地区	桜井駅前地区	全ての建築行為等	0	変更有り
		箕面船場駅前地区		0	
		川合・山之口地区		0	
		箕面新都心地区		0	
		桜ヶ丘二丁目大正住宅博覧会地区		0	
		彩都粟生地区		15	
		外院二丁目地区		0	
		小野原西地区		5	
		箕面森町（水と緑の健康都市）地区		11	
		箕面森町地区の一部区域（ピースガーデン）		50	
	景観配慮地区	白鳥三丁目東急不動産開発地区	全ての建築行為等	0	変更なし
		今宮三丁目東急不動産開発地区		0	
		府道豊中亀岡線沿道		0	
		桜ヶ丘二丁目大正住宅博覧会周辺地区 （田村橋通り沿道、紅葉橋通り沿道含む）		2	
山すそ景観保全地区	白楽荘弥生通り沿道	全ての建築行為等	0	変更有り	
	滝道沿道（風致地区含む）		0		
山すそ景観保全地区		①敷地面積500㎡超 ②軒高10メートル超 いずれかの建築行為等	0	変更有り	
重点地区を 除く地区	その他の地区	①敷地面積500㎡超 ②軒高10メートル超 いずれかの建築行為等	1	変更有り	

※都市景観形成地区のうち、「変更なし」の地区については、独自のマンセル値による色彩基準有り
 ※「届出が必要な行為」に該当しない場合は、色彩の制限はなし（自由な色彩で建築可能）

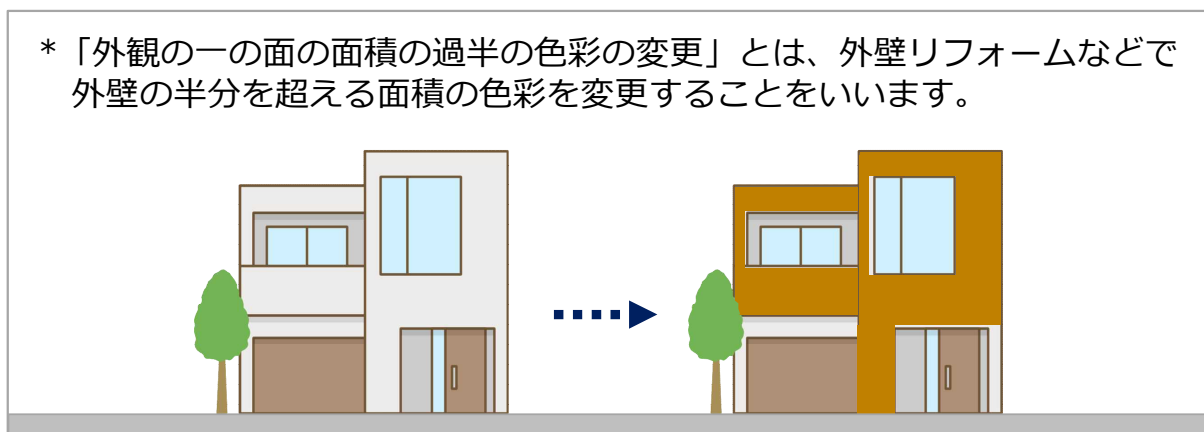
3. 対象区域と対象行為について

(3) 色彩基準が適用される建築行為

対象区域の戸建て住宅に対して次の行為を行う際に、色彩基準が適用されます。

- ・新築、増築、改築もしくは移転
- ・外観を変更することとなる修繕（大規模修繕に限る）
- ・模様替（大規模の模様替に限る）
- ・色彩の変更（外観の一の面の面積の過半の色彩の変更に限る*）

*「外観の一の面の面積の過半の色彩の変更」とは、外壁リフォームなどで外壁の半分を超える面積の色彩を変更することをいいます。

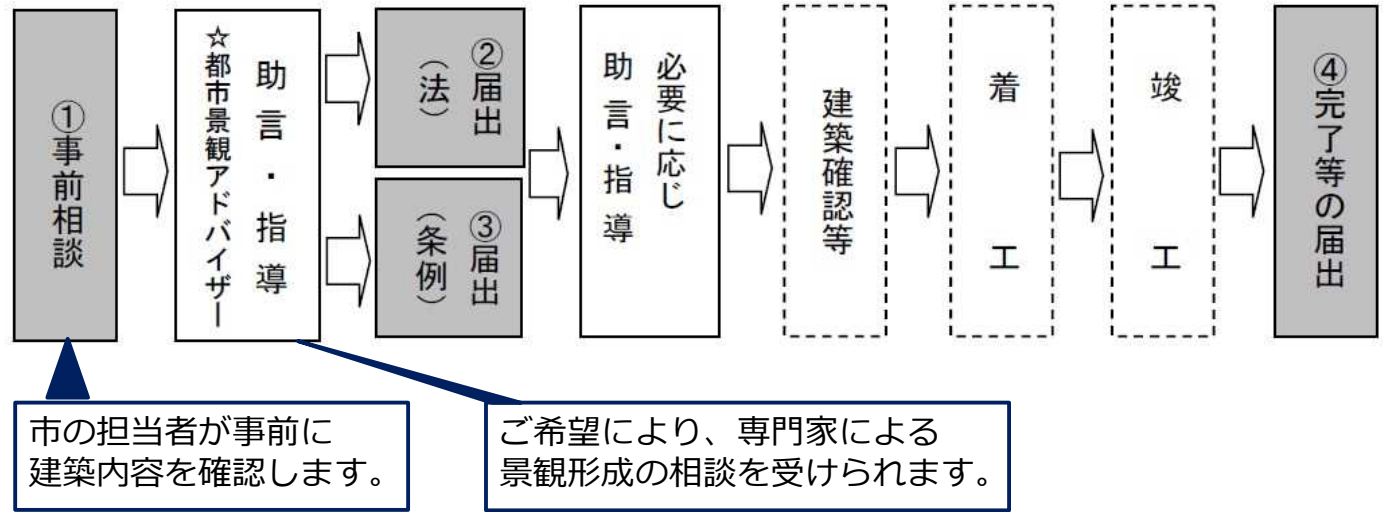


3. 対象区域と対象行為について

(4) 各種相談制度

景観の手続きに関する相談制度を設け、市の担当者や、専門家が景観形成についてサポートしています。お気軽にご利用ください。

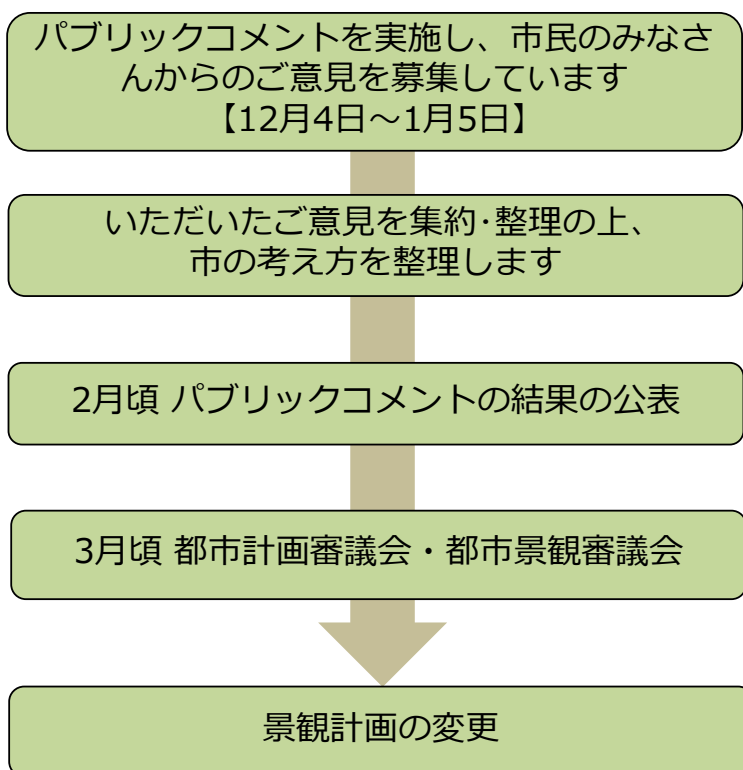
【参考】景観の手続きの流れ



これからも市民や事業者の皆様と一緒に、「箕面らしい」緑豊かで良好な景観形成を行ってまいります。

4. 今後のスケジュール

パブリックコメント以降の流れは次のとおりです。



「箕面市景観計画（色彩基準）の変更について」は、以下の方法でご覧いただけます。

■ 市内の各施設で閲覧

- ・市役所（まちづくり政策室、行政資料コーナー）
- ・豊川支所、止々呂美支所
- ・総合保健福祉センター
- ・西南生涯学習センター
- ・中央・船場・東図書館
- ・みのお市民活動センター

■ 市ホームページで閲覧

<https://www.city.minoh.lg.jp/business/keikan/index.html>

■ 説明会 下記のとおり説明会を実施します

日時：令和5年12月7日(木)午後7時00分から
 場所：東生涯学習センター 講座室
 定員：30人（当日先着順）

日時：令和5年12月8日(金)午後7時00分から
 場所：西南生涯学習センター 大会議室
 定員：30人（当日先着順）

日時：令和5年12月13日(水)午後7時00分から
 場所：みのお市民活動センター 多目的室
 定員：30人（当日先着順）